

実施日	平成 29 年 5 月 31 日 (水)
依頼者	名古屋市立東港中学校
タイトル	未来の天気予報
<p>コーディネーターへの相談内容</p> <p>○依頼者の要望</p> <p>環境活動として、環境月間の 6 月に学校全体で、昨年までは地域の公園・道路などの清掃活動「ゴミ拾い」に取組んでいたが、交通量が多いことや、拾うゴミが少ないことから、校内で新しく取組む環境学習及び講師を紹介してほしい。</p>	
<p>コーディネーターの対応</p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>【選定講師】NPO 法人気象キャスターネットワーク (WCN) ^{むしかりか} 虫鹿里佳氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動に代わる環境活動として、学校で取り組む省エネ活動を提案し、その活動の必要性の理解を図るために、地球温暖化問題の現状を学ぶことを勧めた。 ・「地球温暖化」をテーマに愛知県や名古屋市の現状についてわかりやすく説明いただける気象予報士ネットワークのメンバーである虫鹿里佳氏に依頼した。 <p>○学習内容の提案</p> <p><講師に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育として、講師の仕事内容を伝えること ・写真やイラストを多く使い、文字数を減らすこと ・全学年を対象としており、人数が多いため、クイズ形式にすること ・実験や体験は行わず、参加型のクイズや紙に書く質問形式の時間を取る ・生徒と一緒に考える時間を取る ・自分たちに何ができるのかを考えるための素材や教材を提供すること ・地球温暖化問題は遠い国で起きていることだと認識しやすいが、実際は自分たちにも関係していることを具体的に伝えること ・世界はつながっていることを伝えること <p><依頼者に対して></p> <p>(授業前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的を明確にし、今までの関連する授業内容を講師と共有すること ・調べ学習の内容や今まで学んだことを振り返ること ※情報提供程度でも可 <p>(授業後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づいたこと、自分たちに何ができるかなどについて考え、話し合い、意見をまとめ、発表する時間を持つこと ・日々の生活の中で、学習したことが行動につながるよう促すこと ・外部講師による授業の学びを展開し、未来の自然環境や暮らしについて話し合う機会を持つこと <p><その他>今後の授業で ESD を取り入れる方法について提案した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識や情報を一方的に提供する授業ではなく、参加型や体験型学習手法を授業に取り入れること ・ペア学習、グループワーク、全体討論など話し合いの時間を持ち、環境の問題への学びを深め、行動につ 	

ながるように促すこと

- ・未来の地球、未来の愛知、未来の名古屋市の環境を想像し、どんな町、環境だったら暮らしやすいか、そのためには何をすればよいのかについて、話し合う時間を持つこと

学習内容と当日の様子

<ねらい>

- ・地球温暖化について自らの問題として解決策について考え、実践できる人材を育てる。

<内容>

- ・異常気象の定義、要因・原因について・・・温暖化と対策
- ・世界で起こっていること（環境破壊の現状等）
- ・人間ができること、意識すること等
- ・学校、家庭でできること

<参加者数>

生徒：全校（約540名）

教員：全教員

<講座の結果>

- ・事前学習として、環境美化委員が全校集会で「地球温暖化」についての話をしたい、と相談を受け、全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）こどもプラザの資料を提供した。
- ・生徒たちが興味を持つようなプロセスを踏んだこともあり、当日は、聞く姿勢ができており、集中して聞いていた。地球温暖化の影響について身近な話題の提供があり、特に2100年の未来の愛知県の天気予報に関心を持って聞いていた。クイズでは手を挙げて、積極的に答える生徒が多く見られた。前のめりに映像を見ている生徒や、つぶやきながら聞いている生徒も見受けられた。生徒が質問の回答を紙に書く場面では、真剣に記入している生徒や、隣の生徒や先生と相談している姿が見られた。答えをメモしている生徒もいた。
- ・最後のまとめクイズは、教員も参加した。全員が立ち、間違えたら座るというクイズ形式で行い、生徒の様子は相談したり、真剣に考えたり、楽しそうであった。正解率が高く、クイズに対する質問も出され、講義の内容への理解や、関心の向上につながったことが分かる。
- ・最後に、未来の地球のためにみんなで行動していこう、とまとめをした。映像、写真、イラストを活用した資料を用いた分かりやすい言葉での講座であったため、生徒の興味をかきたて、学習意欲が高まる授業展開であった。地球温暖化、異常気象という深刻な問題に向き合い、地球温暖化を防ぐには「自分たちの行動が大切であること」に気づき、今後の活動について考える学びの時間となった。



(講座の様子)

コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・特になし

○外部講師

- ・お会いすることで学校側の要望がよりわかり、余裕をもって資料作成ができました。
- ・授業がやり易いように迅速に対応いただきました。

その他

なし